

## 科学的介護に向けたデータベース「CHASE(チェイス)」への対応と 令和2年度モデル事業に関する意向調査

来年度から本格稼働が予定されている、国による科学的介護に資するデータベース「CHASE(チェイス)」について、今年7~8月にモデル事業の調査が行われ、対象を老健施設に絞ったデータ収集実証が行われる予定です。つきましては、今回2つの目的で意向調査を致します。

- (1) 来年度から始まる「CHASE(チェイス)」に対応するため、地域医療介護総合確保基金を用いて、新たに介護ソフト(R4システム等)や薬剤管理ソフト等の導入意向を調査し、支部でとりまとめのうえ、ICT導入支援補助金の申請(代行)を一括して行うため。
- (2) 今年度の「CHASE(チェイス)」モデル事業で、全老健が介入して行なう、老健施設を対象に絞った調査(データの自動送信テスト等)に協力可能な施設をリスト化するため。  
(以下の枠内の要件に合致する施設が対象となります)

※ (2)老健施設に対象を絞ったCHASEのデータ収集実証調査の要件:

- ① NDソフト/ワイズマン/レゾナいずれかのR4システムで利用者情報を管理している。
- ② 薬剤管理ソフト「楽くすり」を使った、服薬情報の送信テストに協力できる。

お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

**科学的介護に向けたデータベース「CHASE(チェイス)」への対応と  
令和2年度モデル事業に関する意向調査**

以下にご記入のうえ、**FAX:050-3588-1927 (岡山県老健協事務局)**にてご返送ください。

貴施設名		ご担当者名	
------	--	-------	--

問1:厚生労働省が実施する「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」についてお伺いします。当てはまる番号に○を付けてください。

※調査対象となる約1,000施設に対して、今年5月頃に厚生労働省より「科学的介護データ提供関連サービス(CHASE)に関するお知らせ」(CHASEのID・パスワードが記載されたハガキ)が送られております。ハガキが送られていない施設におかれましても、本設問の(3)にて「1. 協力可能」とご回答いただいた施設にはあわせて調査協力のご依頼をさせて頂く場合がございます。

設問	選択肢
(1)厚生労働省から本事業についてのハガキが	1. 送られてきた 2. 送られてこなかった 3. わからない
(2)現状の利用者情報について	1. NDソフト/ワイズマン/レゾナの3社いずれかのR4システムを導入しており、システム上で利用者情報の管理・保管を行っている 2. 上記3社いずれかのR4システムを導入していない
(3)は(2)にて選択肢「1」を選択した方にお伺いいたします。	
(3)全老健が介入して行なうモデル事業(データの自動送信テスト等)についての協力意向	1. 協力可能 2. 協力不可能

問2:利用者情報の管理とICT化への対応意向等について、当てはまる番号に○を付けてください。

※来年度から始まる「CHASE」に対応するためにかかる費用(介護ソフトや薬剤管理ソフト等の導入費用等)として、地域医療介護総合確保基金 ICT導入支援補助金の予算折衝の参考にいたします。

設問	選択肢
(1)ICT化への対応・補助金利用意向について	1. 来年度のICT導入補助金を利用してICT化を進め、CHASEへ対応したい(対応のためにICTを導入・拡充したい) 2. 来年度のICT導入補助金を利用してICT化を進めたいが、CHASEに対応する予定はない 3. CHASEへ対応したいが、来年度のICT導入補助金の利用は考えていない 4. CHASEに対応する予定はなく、来年度のICT導入補助金の利用も考えていない 5. その他
(2)は(1)にて選択肢「1」また「2」を選択した方にお伺いいたします。	
(2)ICT導入補助金はどの費用に充てたいとお考えですか?(該当全て選択)	1. 介護ソフトの導入や拡充費用 2. 薬剤管理ソフト「楽くすり」の導入費用 3. その他

なお、厚生労働省のモデル事業実施に必要な情報は、厚生労働省・全国老人保健施設協会・三菱総合研究所・(株)レゾナと共有させていただきますのであらかじめご了承ください。

＜ご協力ありがとうございました＞

**回答締切:2020年7月20日(月) 問合先: 岡山県老健協事務局 TEL:086-420-2377**

## 【補足説明】 令和2年度の「CHASE(チェイス)」モデル事業について

厚生労働省が今年の7～8月に行う「CHASE(チェイス)」のモデル事業は、以下の2種類の調査(事業所からのデータ収集)が含まれます。(いずれも三菱総合研究所が受託・実施します)

### 調査1: 「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」

今年5月頃に、「科学的介護データ提供関連サービス(CHASE)に関するお知らせ」(CHASEのID・パスワードが記載されたハガキ)が、約1,000施設に送られています。このお知らせハガキが届いた施設は調査1の調査対象になります。

調査1は、7月下旬に調査協力依頼が発出される予定です。ただし、NDソフト・ワイズマン・レゾナの介護ソフト<sup>※1</sup>を導入していない施設は、手入力でデータを入力する作業が必要になりますので、可能な範囲でご対応ください。

### 調査2: 全老健が介入して行なうモデル事業(データの自動送信テスト等)

調査1の対象施設のうち、以下の要件を満たす施設に調査2へのご協力をお願いします。調査2は「いかに省力化して、CHASEに正確なデータが送信できるか」のテストです。施設がデータで保管している利用者情報を、介護ソフトから自動でCHASEにデータ送信できるか等を実証します。このため調査2は、以下の要件に合致する施設にご協力いただく必要があります。

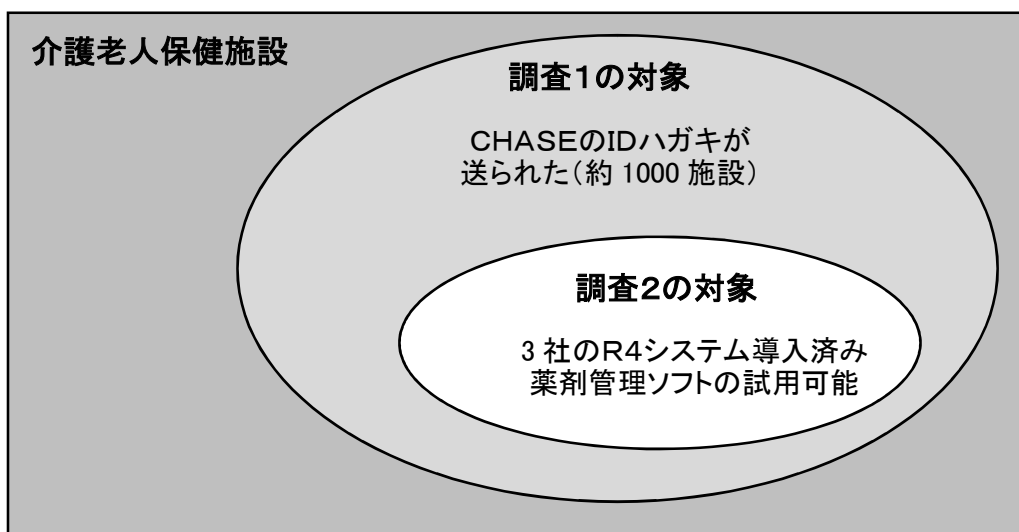
#### <調査2の対象施設の要件>

- ① NDソフト/ワイズマン/レゾナいずれか<sup>※1</sup>のR4システムで利用者情報を管理している。
- ② 薬剤管理ソフト「楽くすり」<sup>※2</sup>を使った、服薬情報の送信テストに協力できる。

※1: 令和2年7月中にCHASE対応機能が実装されるのは、NDソフト、ワイズマン、レゾナの3社のみです。(3社以外の介護ソフトは、今年度末までにCHASE対応機能が実装される見込みです)

※2: 「楽くすり」は、老健施設入所者の薬剤管理を目的として新たに開発されたソフトです。調査2に協力いただける施設は、このソフトのデモ利用が可能です(今年度中、本体価格・月額使用料はメーカー負担(無料)となります) なお、ご希望多数の場合は抽選で100施設とさせていただきます。

### <「CHASE(チェイス)」モデル事業 対象施設のイメージ>



## 【参考資料】 科学的介護に向けたデータベース「CHASE(チェイス)」について

### ●「CHASE(チェイス)」とは何か？

これまで介護サービスでは、様々な状態の利用者に対し、介護者が経験に基づくケアで対応してきました。しかし今後、要介護高齢者が増え、少子化による人材不足が進むと、自立支援に向けた質の高いケアを提供し続けるのが困難な状況が来ることが懸念されます。

誰もが効率的に適切なケアを提供できるようにするため、どのような状態の利用者にどのような介入を行うのが良いかを、実際のデータを元に分析し、効果的な介護ケアのあり方を考えるため、国は介護に関する様々なデータを収集し分析する仕組みを作ろうとしています。

現在、国がデータで保有している介護関係の情報には、要介護認定情報、介護保険レセプト情報、リハビリテーション関係の情報(前回の介護報酬改定で導入された「VISIT(ビジット)」)がありますが、利用者の状態や介護ケアの中身に関する情報を収集する仕組みがありませんでした。そこで新たに、科学的介護に向けたデータベース「CHASE(チェイス)」が作られ、令和2年5月から運用が開始されました。

### ●「CHASE(チェイス)」で何をするのか？

この「CHASE(チェイス)」では、介護サービス事業所が把握している情報のうち、以下のよう  
な情報を収集することとしています。

#### 「CHASE(チェイス)」で収集する情報項目の例

- ・ 利用者の身長・体重・介護者の有無などの基本情報
- ・ 既往歴、服薬情報、褥瘡の既往などの医療に関する情報
- ・ 身体の状態(ADL)の評価(バーサル・インデックス)
- ・ 栄養ケアマネジメント、口腔機能、食形態などに関する情報
- ・ 認知症の評価、意欲の有無、興味関心などに関する情報
- ・ ICFステージングなどのアセスメント情報

情報の収集方法は、介護サービス事業所がインターネット回線を使って直接、国が管理する「CHASE(チェイス)」の入力画面に入力します(利用者個人を特定する情報は入力しません)。なお、既に介護ソフトで情報を管理・保管している場合は、介護ソフトを通じて必要なデータが簡単に送信できるよう、メーカー各社が準備を進めています。(2020年7月時点では、NDソフト・ワイズマン・レゾナのみ対応可能)

### ●「CHASE(チェイス)」はどのように現場に役立つのか？

「CHASE(チェイス)」にデータを送信することで、情報提供に対する加算の形で介護報酬が得られる予定です。また、全国から収集したデータを分析した結果が事業者側に情報提供されます。CHASEから提供された情報を参考に、自立支援に向けたより良いケアのヒントを得ることができるため、全国の介護サービス事業所の質の向上に役立つことが期待されています。

### ●参考資料： 厚生労働省 「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会 取りまとめ」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203155\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203155_00001.html)